

宮城県築館高等学校 人のためプロジェクト

～自分のためはあたりまえ 人のためになることをしよう～

高校生ボランティア・アワード2019

人のためプロジェクトとは…

「地域に貢献する」「『生きる力』を養う」ことが目的
生徒自ら、人のためになることを考え実行するプロジェクト

「人のためプロジェクト」誕生の経緯

築館高校は、宮城県北部に位置する栗原地域の拠点校で、各界で多くの先輩方が活躍しています。これまで全校生徒が部員のボランティア部は多くの活動をしてきましたが、発足当初は依頼に対応するだけになっていました。平成25年度の始業式に、当時の校長先生が「人のために行い、かつ3年間かけて何か自分にできることをしよう」と呼びかけ、当時の生徒会執行部が中心となって、ボランティア活動のさらなる広がりや地域との関わりを深め貢献することを目的に「人のためプロジェクト」委員会を立ち上げました。それ以来、各クラスから委員が選出され、定期的集まりを持ち意見を出し合い自主的な活動、発信型ボランティア活動を考え展開しています。

人のためプロジェクトの歴史

H25 人のためプロジェクト発足

最初の活動として芝桜プロジェクトが始動

校地西側に芝桜を植栽

H26 校地南側に芝桜を植栽

芝桜の株を買うために廃品回収をし、資金を集める

熊本地震が起こり、支援のためお茶碗プロジェクトが発足

H27 復興応援歌「明日の君へ」作成

H28 ボランティアスピリットアワードへの参加

H29 第41回全国高等学校総合文化祭 みやぎ総文2017参加

H30 人のため合唱団結成

ボランティアアワード2018参加

活動団体 プロフィール 全校生徒& 全職員が部員

	参加人数	合計
1年	153人	458人
2年	157人	
3年	148人	
顧問	33人	

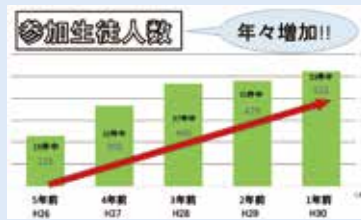
全校生徒が部員の 「築館高校ボランティア部」

①全校生徒458名が部員であり、全国一の部員数を誇る。

築館高校ボランティア部は、全校生徒が部員であり、学年・部活動関係なく生徒全員が率先し、一丸となり活動をしています。普段は、別々の部活動に所属し多方面で活躍していますが、ボランティア部員としても一年1回以上様々な場面で活動しています。

②全職員がボランティア部の顧問

全校生徒が部員であるのも特徴ですが、校長先生をはじめとして全職員もボランティア部の顧問として活動しています。生徒と一緒にボランティア活動に参加し取り組んでいます。



～復興応援歌プロジェクト～ 「人のため合唱団」

平成27年度に始まったプロジェクト。「人が元気になる応援歌を作る」ことを目的に作詞から作曲まで自分たちで取り組みました。最初は、宮城県沿岸部の被災地を対象に作成していましたが、熊本地震を受けて、地域を問わずに誰でも元気になるような曲をという事で方針を変更しました。平成29年度には「明日(あした)の君へ」が完成し、平成30年度にはこの歌を歌い継ぐための「人のため合唱団」が発足しました。卒業式や合唱コンクールなどさまざまな学校行事で歌うほか、各地で出張公演もしています。今後は支援学校や社会福祉施設にも出向く予定です。

H28 築館高等学校2学年人のためプロジェクト復興応援歌 「明日の君へ」

- 長い長い夢の途中 高い壁ばかり 何度も挫折そうになる けれど「昨日の自分には負けられない」 聞こえるだろう キミのココロの声が
- めぐりめぐる季節の中 僕はずっと 失くしたものを探していた けれど「ああそうか、僕は一人じゃない」 忘れていたこと 皆が教えてくれた

だから今 顔を上げて 前を向いて 転んだって すぐ立ち上がればいい 流した涙も明日に変わるから 自分の信じた道を迷わず進め!

だから今 飛び立てあの青空に さっきまでと景色が違って見える 背中押してる声が聞こえたから もっと遠くに飛んでいける

何度も不安で後ずさりしそうになるけど 感じるだろう 繋いだ手と手のぬくもりを

だから今 顔を上げて 前を向いて 転んだって すぐ立ち上がればいい 流した涙も明日に変わるから 自分の信じた道を迷わず進め! あの時夢見た場所へ 僕らは行くよ

フレーズやキーワードを 生徒全員から募集して、すべての人の気持ちが生きた 言葉を抜粋し、キーワードとなる言葉を考え歌詞を作りました。

地域防災プロジェクト

～「守られる」から「守る」へ～

築館高校では毎年、防災安全の意識の向上と地域との関わりを目的に、栗原市築館地区の住民の方々と合同で防災避難訓練を行っています。築館高校生は、自分たちが安全に正しく避難することだけでなく、避難所の設営や炊き出しなど、人のために何ができるのかを考え動く訓練をしています。また今年度は、全国高校生防災会議が栗原市で行われる予定で、平成18年度に発生した岩手宮城内陸地震の震災遺構である「栗原山麓ジオパーク」を案内することになっています。現在は本番に向け、校内での研修を行っており、8月11日には東日本大震災の被災地気仙沼市を訪問し、現地でのボランティアも行う予定です。

活動例1) 築館地区防災避難訓練



例2)

「栗原山麓ジオパーク」案内にむけた気仙沼市での研修

8月11日(日)のスケジュール



被災地支援プロジェクト

～震災を経験した私たちができること～

例1) 西日本豪雨被害を受け、市内スーパーで募金活動



募金結果
総額、57,976円
集まった募金は日本赤十字を通じて豪雨被災地に寄付

例2) お茶碗プロジェクト

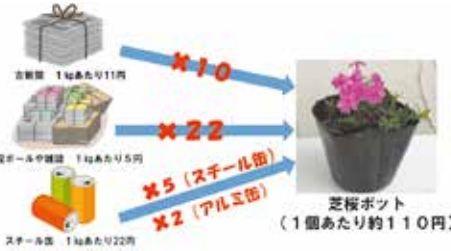
東日本大震災を経験した我々その時たくさんの人に復興のために支援してもらった。そして熊本地震の被災者が苦しんでいる。経験者しか分からない苦しみ、分らないからこそ次は私たちが!!!! 何が出来るか、考えた結果食器を届けようというNPO団体さんを知った。これなら自分たちにも出来る。そして我々築館生は立ち上がった。

佐川急便さんにご協力をいただき、無償で運んでいただきました!

芝桜プロジェクト

～笑顔の花を咲かせよう～

「人のためプロジェクト」委員会で、初めて生徒の話し合いから生まれたプロジェクトです。目標を「私達の力で町に元気、そして笑顔の届ける」と定め、現在もその活動を継続しています。活動資金は募金活動とリサイクル資源の回収で集めました。また、各地の築館高校同窓生の方々を中心とした、地域の方々が賛同してくださり、多くの協賛金もいただきました。様々な困難がありましたが、一万株の芝桜を植栽することができました。これにより、地域の方に笑顔の花を咲かせることができただけでなく、地域の方と心の交流を図ることもできました。そして、それがリサイクル資源の回収や周囲の環境美化に繋がったことから、このプロジェクトはエコ活動にもなっています。



植栽活動の様子



芝桜プロジェクトの活動資金

	金額(円)
廃品回収・募金活動によって集まった資金	54,880
協賛金	885,405
合計	940,285

全国から気仙沼の寄付金を頂きました!